

生活に直結する身近な道路上での、安心・安全な空間づくりを推進します

～ 生活道路の交通安全に係る新たな連携施策
「ゾーン30プラス」の整備に向けた実証実験の実施について～

生活道路上での事故について

国土交通省道路局資料を引用

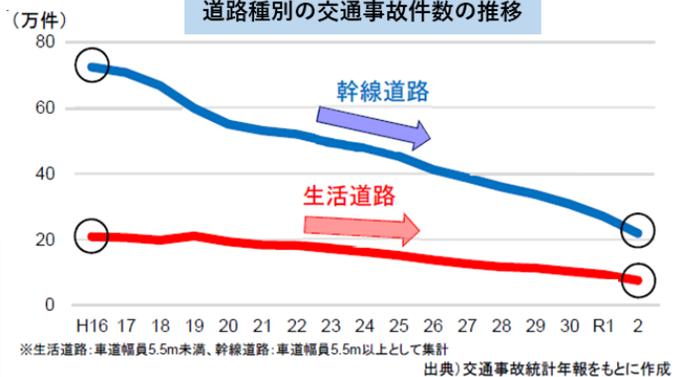
近年、通学路を含めた生活道路における交通安全対策は、大きな課題となっています。

- ・交通事故による死者数は、ガードレール等の整備、シートベルトの着用向上や集中的対策により、ピーク時に比べて1/5以下まで減少している。
- ・ただし、幹線道路に比べ、生活道路の死傷事故件数の減少幅は小さい。
- ・歩行中、自転車乗車中が死者数全体の半数を占め、その約5割が自宅から500m以内といった身近な道路で事故が多く発生している。

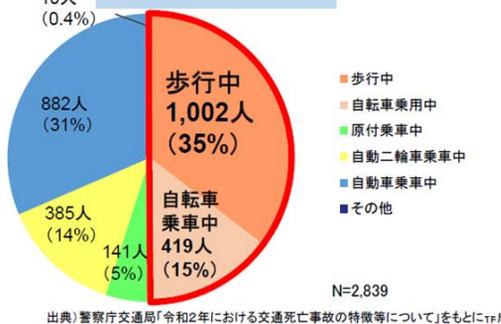
交通事故死傷者数の推移



道路種別の交通事故件数の推移

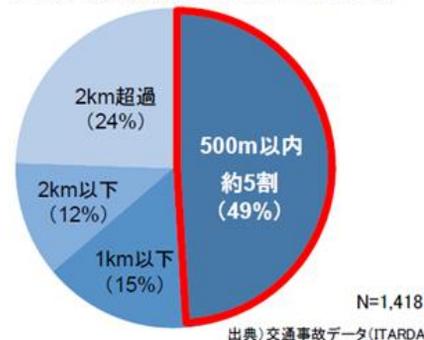


状態別交通事故死傷者数



自宅からの距離別死者数
(歩行者・自転車)

【自宅からの距離別死者数(歩行者・自転車)】



約5割が自宅から500m以内で発生

